

## 僕が考えていること

8月24日（金）

昨日のブログはいつもと違う反応がありました。メッセージ（非公開）やメールで、本を早く出版してほしい。市長の考えを知りたい。

職員だけど、市長のトータルデザインを知りたい。市長の考えが浸透してなくて雑音になっている。という内容が多かったです。

いつも、このブログで考えていることは出しているんだけどなあ（苦笑）って思いつつ、今日の異業種交流会の講師としても言いましたが、最終的な目標は、ぬくもりのある元気な武雄市。市民が武雄市を誇りに思うこと。なかならず子どもたちが武雄を好きになること。

そのために住民サービスの維持、具体的には子育て、福祉等のサービスを維持すること、とはいえ、国・県からの補助金は削減まっしぐらなので、自主財源を充実させる必要があること、自主財源と市民所得の確保のために、企業・学校誘致、観光をはじめ、さまざまな政策を効果的に打っていくこと。もちろん、窓口サービスは極めて重要。



市役所の位置づけは、職員一人ひとりの持分のレベルを上げることによって、市民から期待され、頼りになることによって、市民力の底上げをすること。（市民力の底上げはそのうち書きます。）

その中の市長の役割は、市民の代表として、市民の盛り上げをプロデュースし、そのために市役所の長として、市役所を機能させること。つまりは、市の職員の皆さんが、自分の仕事にプライドを持って、楽しく、持分の仕事をやっていくこと。と思っています。

市役所職員の皆さんも頑張ってもらっていて、極めていい方向に向かっていきます。ただ、最終的な目標に到達するまでは、10年くらいかかるでしょう。いろいろ書き足りないところがありますが、こんなことを考えています。

# 武雄市長物語

今回は、ブログで公開されている『武雄市長物語』より7月25日～8月25日分の中からを抜粋して紹介します。

## 佐賀北、決勝へ

8月21日（火）

佐賀北、ついに決勝へ。ちまたで言われていますが、まさにがばい対決。前にも書きましたが、エースナンバーの久保君が武雄市山内町出身なので、応援にも力が入ります。

甲子園といえば、佐賀商。平成6年（94）。今から13年前。社会人2年生だった僕は、仕事をほったらかして、応援しました（笑）。当時の上司の皆さん、ごめんなさい★

今回もミラクル感が似ています。右の写真は、教育委員会の大庭課長の筆によるもの。見事です。



今日は勤務時間終了直前に、18年度・職員提案の表彰式。市役所2階の市民ホールで。最高の市長賞は、観光自動販売機。これはもう取り組んでいます。121の応募があり、甲乙つけ難し。（22日（水）の市HPに表彰内容が掲載。）



この自治体の規模で121はすごい。「がばい」市役所です。他県で同じ規模だと普通は10かそこらでしょう。

19年度（つまり今年ですね。）の職員提案制度は秋に始まりますが、また、職員の皆さんには業務改善などいろんな提案をしていただきたいと思っています。もちろん、市民の皆さんには、市長へのはがき制度その他ありますので、ぜひご活用ください。

県内外の皆さんのご来客、取材。夢のある企画も頂きました。夏風邪も完治し、佐賀北に負けないように頑張りたいと思っています。